

I. 設計条件

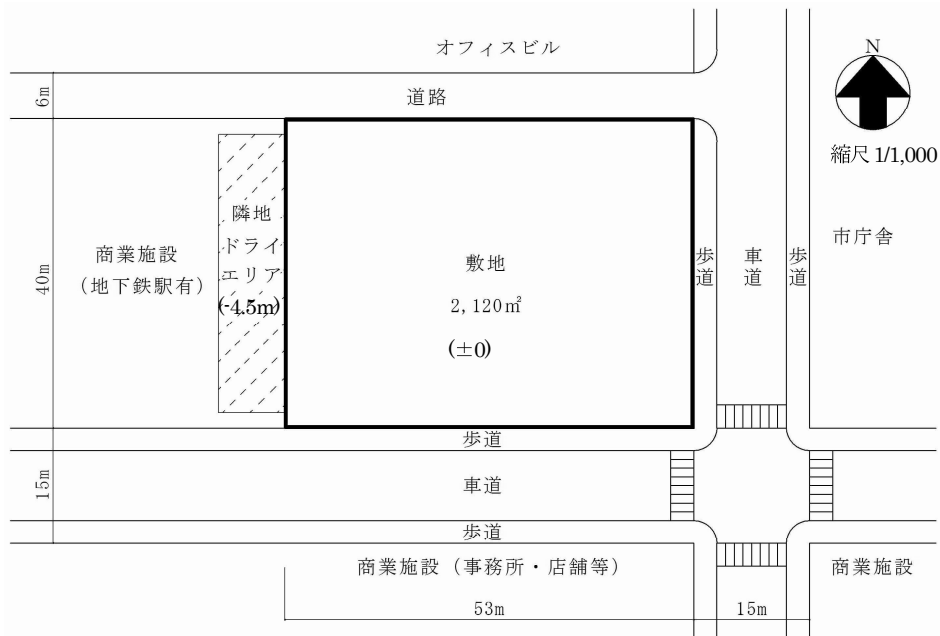
この課題は、ある地方都市の中心市街地において、建築関係者が技術研鑽や関係者との交流が出来ると共に、一般市民にも広く建築に親しんでもらうことを目的とした「建築教育普及部門」と、各種集会所等に利用できる「コミュニティ部門」からなる建築教育普及センターを計画するものである。また、広場(サンクンガーデン)を設け、建築物と有機的に構成された空間とする。

計画にあたっては特に次のことが求められる。

- 敷地周辺の環境に配慮した計画とする。
- 「建築教育普及部門」、「コミュニティ部門」の異なる機能を適切にゾーニングすると共に、各部門間の動線に配慮した計画とする。

1. 敷地および周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は下図のとおりである。
 - 北側一道路(幅員 6m)を挟んでオフィスビルがある。
 - 東側一道路(幅員 15m)を挟んで市庁舎がある。
 - 南側一道路(幅員 15m)を挟んで商業施設がある。
 - 西側一商業施設があり地階は地下鉄駅に続く地下街がある。又、敷地境界にはドライエリア (GL-4,500) が併設されている。
- 道路と敷地との高低差はないものとする。また、歩道の切開きは1箇所あたり6mまでできるものとする。
- 敷地は近隣商業地域および準防火地域に指定されている。また、建蔽率の限度は60%、容積率の限度は300%である。なお、日影について特別な配慮はしなくてよい。
- 電気・ガスおよび上下水道は、完備している。
- 地盤は良好である。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造としてもよい)、地下1階地上2階建の1棟の建築物とする。
- 床面積の合計は、2,700㎡以上、3,200㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ・塔屋・バルコニー・屋外階段等は床面積に参入しないものとする。
- 主要な階段およびスロープについては、次のとおりとする。
 - 階段は幅を1.4m以上、けあげの寸法を16cm以下、踏面の寸法を30cm以上とする。
 - スロープは、幅を1.5m以上、勾配を1/12以下とする。
- 設備については、次のとおりとする。
 - 空気調和設備は、空冷ヒートポンプパッケージ方式とする。
 - エレベーターは、次の通り設ける。
 - 利用者用一乗用1基(油圧式・13人乗、かごの床面積2.09㎡以上)
 - サービス用一人荷用1基(ロープ式・9人乗)

3. その他の屋外施設等

- サンクンガーデンを次の通り計画する。
 - 地下1階の屋外に設けるものとし、まとまったスペースで250㎡以上(ピロティ、上部に屋根、ひさし等がある部分は参入しない)とする。
 - 植栽、水場、屋外ファニーチャー等を記入する。
 - 地上からの動線に配慮する。
- カフェテラスを次の通り計画する。
 - 屋外に設けるものとし、まとまったスペースで80㎡以上とする。
 - 一部をサンクンガーデンと重複してもよい。
- 駐車場は地上に平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として2台分設ける。尚、車いす用使用者の駐車場は、幅を3.5m以上とし、建築物の主要な出入口からの距離が出来るだけ短くなる位置に設ける。また、利用者用及び職員用の駐車場については、近隣の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- 駐輪場は、来館者用として10台分(1台当たり0.5m×2m程度)を設ける。
- ごみ置場(6㎡)を設ける。
- 敷地内の通路に設けるスロープは、幅を1.5m以上、勾配を1/15以下とする。
- (1)～(6)の「その他の施設等」は、床面積に参入しないものとする。

4. 所要室

下表の室は、全て計画する。

部門	室名	床面積	特記事項
建築教育普及部門	建築展示ギャラリー	約200㎡	・建築体験工房の作品や、各種建築模型などを展示する。 ・天井高8.0m以上の光あふれる吹き抜け空間とする。 ・商業施設等からよく見える位置に設ける。 ・建築相談コーナー(3ブース)を設ける。 ・倉庫を設ける。
	展示展望ギャラリー	適宜	・建築展示ギャラリー内の展示物を見下ろせるものとする。 ・建築展示ギャラリーからアプローチする。
	建築体験工房	約200㎡	・建築に関する各種作業を一般市民も体験できるものとする。 ・サンクンガーデンに直接出入りできるようにする。 ・天井高7.5m以上とする。
	準備室	適宜	・建築体験工房用とする。
	準備倉庫	適宜	・建築体験工房用とする。
	更衣室	計約60㎡	・男性用・女性用として各1室設ける。 ・シャワー室を設ける。
	談話コーナー	約50㎡	・建築体験工房に近接する。 ・吹き抜け空間とし、上部にトップライトを設ける。
	建築交流サロン	約80㎡	・エントランスホールに隣接させる。 ・建築体験工房を見下ろす位置に設ける。
コミュニティ部門	建築図書室	約250㎡	・受付、ロッカーを設ける。 ・検索コーナー、建築情報コーナー、閲覧コーナーを設ける。 ・建築展示ギャラリーが見える位置に設ける。
	大研修室	約120㎡	・可動間仕切りにより2室(約60㎡/1室)に分割して個別に使用できるようにする。
	小研修室	約30㎡	
	サークル室A	計約90㎡	・15㎡/1室の部屋を6室設ける。
	サークル室B	約30㎡	
共用・その他	講師控室	適宜	
	エントランスホール	100㎡以上	・天井高4.0m以上とする。 ・風除室を設ける。
	地下ホール	適宜	・風除室を設ける。
	見学ラウンジ	適宜	・建築体験工房を見下ろす位置に設ける。
	休憩ラウンジ	約50㎡	・建築展示ギャラリーを見下ろす位置に設ける。
	自販コーナー	適宜	・休憩ラウンジに近接させる。
	レストラン	約150㎡	・外部からも直接利用できるようにする。 ・テラス(約30㎡)を設ける。 ・厨房を設ける。
	オープンカフェ	約120㎡	・可動サッシを設け、カフェテラスと一体的に使用できるようにする。 ・厨房を設ける。
	管理事務室	約60㎡	・施設全体の管理を行う。 ・受付カウンターを設ける。
	守衛室	適宜	・地階からの来館者の入退館の管理を行う。
	更衣・休憩室	適宜	・職員用とする。 ・男女別々に設ける。
	電気・機械室	約140㎡	・地下1階に設ける。

(注) 上記の床面積の合計は、約2,000㎡となる。

II. 要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内(寸法線は枠外でもよい)に黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面

下表により所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面および縮尺	特記事項
(1) 地下1階平面図 1/200	①建築物の主要寸法(柱割および床面積の計算に必要な程度)を記入する。 ②室名等を記入する。 ③パイプシャフト・煙突の位置を図示し、それぞれPS、煙突と記入する ④1階平面図兼配置図には、次のものを図示する
(2) 1階平面図兼配置図 1/200	イ. 断面図の切断位置 ロ. 建築物の主要部分の各出入口 ハ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。) ニ. 駐輪場(台数を明示する。) ホ. ゴミ置場
(3) 2階平面図 1/200	ヘ. 通路・植栽等 ト. ドライエリアの位置
(4) 断面図 1/200	⑤建築展示ギャラリー、建築体験工房、建築図書室、大研修室、小研修室、サークル室A、サークル室B、建築交流サロン、レストラン、オープンカフェ、管理事務室、電気・機械室の床面積を記入する。 ⑥サンクンガーデンには面積を記入し、植栽、水場、屋外ファニーチャー等を記入する。 ⑦カフェテラスには、植栽、テーブル、屋外ファニーチャー等を記入する。 ⑧吹き抜けとなる部分を図示する。 ⑨直下階の屋根、庇となる部分を図示する。
(4) 断面図 1/200	①切断位置は、建築体験工房を含み建築物全体の立体構成(地下1～2階)および屋根形状がわかる断面とする。 ②塔屋を除く地盤面からの建築物の高さ、階高、天井高、1階床高、主要な室名を記入する。 ③はり及びスラブの断面を図示する。なお、基礎については図示しなくてもよい。

2. 面積表

地下1階～2階の床面積およびその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。